

週間市場レポート (2020年4月13日~4月17日)

1) 先週の市場動向

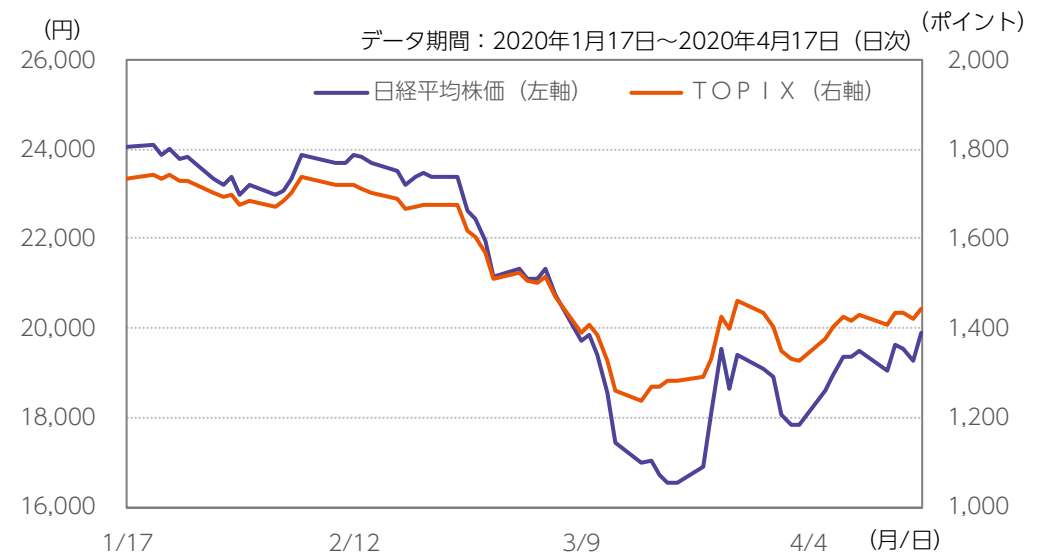
指数名	国	前週末 2020/4/10	先週末 2020/4/17	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		19,498.50	19,897.26	2.05 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,430.04	1,442.54	0.87 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		* 23,719.37	24,242.49	2.21 ↗
S & P500種指数		* 2,789.82	2,874.56	3.04 ↗
ユーロ・ストックス50指数		* 2,892.79	2,888.30	▲0.16 ↘
S & P/ASX300指数		* 5,341.51	5,444.85	1.93 ↗
上海総合指数		2,796.63	2,838.49	1.50 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)*		728.25	748.42	2.77 ↗
東証REIT指数		1,547.47	1,576.15	1.85 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		* 667.55	642.83	▲3.70 ↘
ASX300 REIT 指数		* 1,156.60	1,164.30	0.67 ↗
グローバルREIT (除く日本)*		157.19	151.40	▲3.68 ↘
日本10年国債 (%)		0.02	0.03	0.01 ↗
米国10年国債 (%)		0.72	0.64	▲0.08 ↘
ドイツ10年国債 (%)		▲0.35	▲0.47	▲0.13 ↘
英国10年国債 (%)		0.31	0.30	▲0.00 ↘
ドル/円		108.47	107.54	▲0.86 ↘
ユーロ/円		118.57	116.95	▲1.37 ↘
英ポンド/円		134.86	134.40	▲0.34 ↘
豪ドル/円		68.86	68.45	▲0.60 ↘
フィラデルフィア半導体指数		* 1,601.73	1,705.64	6.49 ↗
WTI原油先物 (ドル)		* 22.76	18.27	▲19.73 ↘
CRB 指数		* 127.82	123.80	▲3.14 ↘
アレリアンMLP指数		* 544.04	598.56	10.02 ↗

2) 日本の株式・債券市場

◀ 株式 ▶

日本株式市場 (日経平均株価) は、前週末比で上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動停滞の長期化懸念がくすぶり続ける中、週初は大幅に下落となりました。その後は、トランプ米大統領が経済活動再開に向けた計画を近日中に公表する姿勢を示したとの報道を受け、米国景気が早期に回復するとの期待感が高まったことなどから、海外投資家を中心に買いが優勢となりました。



≪ 債券 ≫

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。政府の全国民一律10万円給付決定を受けた国債増発による金利上昇が懸念されたものの、新型コロナウイルスの感染拡大で市場参加者が減少する中で値動きは限定的となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇しました。新型コロナウイルス感染拡大のペースが鈍化している兆しが見え始めており、治療薬や経済活動の早期再開への期待感などを背景に、上昇基調となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。欧米において新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しつつあるものの、世界経済の先行き不透明感は根強く、相対的に安全資産とされる円は買いが優勢となりました。対ユーロでも円買いが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

欧米において新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化しつつあります。治療薬の開発期待や、トランプ米大統領が経済再開に向けた3段階のプログラムを公表したことなどを受けた経済活動正常化への期待感の高まりなどから、先週の株式市場は日米両市場ともに前週末比で上昇となりました。

先週公表された中国や米国の経済指標などからは、新型コロナウイルスの悪影響が改めて確認されました。また、本格化した米企業決算では、経営者の慎重な見通しが示されました。一方、欧州ではドイツがオーストリアに続き感染拡大対策として導入していた規制を緩和するなど、一部の国で正常化に向けた動きが見られ始めています。今週の株式市場は、世界における感染者数の動向と、経済活動再開に向けた各国の対応などを見極めながら、一進一退の展開になるものと予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>